



月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.11.30 No. 4303

さらなる団結と新たな闘いの出発点

11/29 動労千葉 鴨川支部結成される

勝浦支部解散大会は、午前一時、勝浦市民会館において支部全組合員七〇名をはじめ、他支部からの応援もかけつけ、一〇名の結集のもとかちとられた。すでに会場は、意気高くストライキを打ち抜いている組合員の熱気でいっぱいだった。

冒頭、鶴岡前支部長が、開会を宣言。あいさつに立った岩瀬孝一支部長は、「勝浦運転区廃止というこの不当な攻撃に対して、我々動労千葉は絶対に許さない。七十二時間ストを貫徹し、さらに団結を固め共に闘っていきましょう」とあいさつ。

続いて、本部を代表して中野委員長は、「勝浦運転区を復活させる闘いが本日をもって開始された。我々は新たな闘いに立ちあがらなくてはならない。敵は、動労千葉の団結をつぶすことを狙ってこの攻撃をかけてきた。我々はこの攻撃を前にして、労働者としての団結をみじんも崩してはならない。たしかに勝浦支部という団結形態はなくなってしまうが、我々は闘いをもって労働者としての団結を打ち固める。

当局は一〇〇〇本の列車が止まると泣きごとを言っている。労働者はなめられたらダメだ。やられたらやり返すということが重要だ。動労千葉は、節々でいろいろな闘いをやってきた。だから、今回のストに当局は、ビクビクしているし、鴨川のJR総連は、恐怖している。大事

なのは、まず、怒ること、そして、反撃するということだ。ストを貫徹し、団結を打ち固め、そして、鴨川支部結成へ。そして、京葉、習志野、千葉転と行く組合員は、新たな職場で動労千葉の組合員として頑張っていたらいい。

さらに、かけつけた新小岩、館山、総武、銚子、千葉転、いすみの各支部の代表が連帯のあいさつをした。総武支部の代表は、「総武支部には、勝浦運転区出身が多く、その勝浦運転区が廃止になるということで、熱いものがこみあげてくる。このくやしさを忘れずに、さらに団結を固めて共に闘っていきましょう」とあいさつした。

この勝利に法えているのはJRであり、JR総連だ。まさに、敵の悲鳴が鴨川運転区に渦巻いている。われわれは、この新たな闘いの拠点に堂々と胸をはって乗り込み、与えられた闘いの使命を貫徹へ向け闘いぬくものである。第一に、JR-JR総連によってつくられた鴨川運転区で、多数派を目標し、JR総連解体一組織拡大へ闘いぬくものである。第二に、八五分割・民営化反対第一波スト以来一〇年に及ぶ動労千葉の闘いは、「JR体制」をして揺らぎはじめるまでに追い込んだ。解雇撤回・清算事業団闘争勝利、強制配転者の原職復帰、差別のない職場の実現へ向けて闘いぬくものである。第三に、安全をかえりみない無謀な二〇キロ運転に見られるような「新たな一〇万人合理化」攻撃に反対し、六〇才まで働くことのできる労働条件の確立へ闘いぬくものである。第四に、「大失業と戦争の時代」の到来は、賃金や雇用形態を破壊し、労働者を無権利状態に落とし込もうとしている。「全国にはばたこう」方針のもと、労働運動のあらたな潮流をつくりだすために奮闘するものである。

われわれ鴨川支部の闘いは、今日この場から始まる。勝浦運転区廃止への怒り、勝浦運転区から配転された仲間たちの悔しさを胸に刻み込み、鴨川運転区を動労千葉の拠点とするために、動労千葉鴨川支部の結成を高らかに宣言するものである。

勝浦支部解散大会に引き続き、午後から鴨川支部結成大会が行なわれた。あいさつに立った水野勝浦市議は、「JR当局による、勝浦運転区廃止―鴨川運転区の新設という許すまじき攻撃がかけられてきたわけですが、鴨川支部全員の力で、一糸みだれぬ団結を固め、支部の結成をかちとってもらいたい。鴨川では、JR当局、JR総連とのしのぎを削る状況になると思うが、動労千葉の組合員として頑張ってもらいたい。また、鴨川以外では、京葉、習志野、千葉転等、散々になるが、みなさん労働者としての誇りをもって共に頑張ろうではありませんか」あいさつ。

最後に、照岡支部長が、「この攻撃に負けることなく一致団結して頑張ろう」とあいさつし、「団結ガンバロー」で新たな闘いの一步を踏みだした。

続いて、鴨川支部の結成にあたって照岡支部長のもと万全の執行体制が確立された。そして、「われわれ鴨川支部は、七十二時間ストライキの真つ只中で深紅の動労旗を掲げた。われわれ鴨川支部の闘いは、今日この場から始まる。勝浦運転区廃止への怒り、配転された仲間たちの悔しさを胸に刻みこみ、鴨川運転区を動労千葉の拠点とするために、動労千葉鴨川支部の結成を高らかに宣言するものである。」

われわれ鴨川支部の闘いは、今日この場から始まる。勝浦運転区廃止への怒り、勝浦運転区から配転された仲間たちの悔しさを胸に刻み込み、鴨川運転区を動労千葉の拠点とするために、動労千葉鴨川支部の結成を高らかに宣言するものである。

結 成 宣 言

動労千葉鴨川支部役員

役職名	氏名
執行委員長	照岡 清一
執行副委員長	大藤 守紀
書記長	鶴岡 芳弘
執行委員	庄司 陸男
	奈良輪 孝
	関 登喜雄
	吉野 六郎
	恋塚 二喜男
会計監査委員	出水 寿和